明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可（日刊）月曜及祭日之翌日休刊 明治四十四年六月三日（土曜日） 第六百九十四號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢 一ケ月前金三十錢 三ケ月前金九十錢 六ケ月前金一圓八十錢 郵税一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料 五號活字十七字詰一行一回金五十錢 雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久輔一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番 振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番

●肺結核の豫防（四）

贊化病院 河野作藏

▲結核菌の抵抗力（續）

第二。素人は肺結核患者の呼出する空氣に結核菌の存ずる樣に考へているが呼吸器粘膜は常に濕潤して居るから結核菌が蒸散し飛び出して來るものでない故に呼氣は夫れ程危險なものではないのである結核菌は呼吸器粘膜の分泌物即痰と舉動を一にするものであるがゆへに咯痰ある患者の咳嗽とか高聲の談話とか噴嚏するときとかは極めて微細なる水滴の霧の如くに出るので其水滴の痰には結核菌を含有するもので然かも非常の強き勢で出る時は三尺も先きに達し結核菌は漸く空中を浮遊するゆへ危險千万であると心得ねばならぬ

第三。皮膚や消化器より入りて肺に移り行くことがある以上肺結核傳染の徑路は二樣である

最も危險なるは日光の作用を受けざる室内即停車場とか馬車とか凡て土足にて入り込む所に吐き出されたる痰が乾燥したる場合に掃除又は風の爲めで搖動され空中に舞ひ上るときである屋外に吐出せられしものは如何と云ふに日光に殺滅せらるゝか或は降雨多き地方かと撒水の盛に行はるゝ市街では乾燥するの逸なく從て空氣中に浮游し人生に傳染するの機なく遂に枯死するゆへ空氣中に浮游することありとするも極めて小部分に過ぎないので殆ど皆無と云ふて差支はないのであるよつて到る處の空氣中に浮游してあるものでないとすれば結核傳染には必ず其機會がなくてはならぬことになるのである。

●京畿道 窮民救濟方針

米價昂騰の爲め各道に窮民簇生するは昨紙所報の通りなるが是れが救濟に就ては官民ともそれ〳〵考案中にして仲には消極に於て雜穀を貸附或は惠與し居るもあり又個人寄附の米金を頒附して一時の急に應じ居れるが這は一時的姑息の策に外ならざるは申すまでもなき事なるが右に付き京畿道長官の救濟方針なりと云ふを聞くに窮民の續出は例年の事にて敢て珍とするに足らざるも併し本年米價の騰貴は前例を見ざる所なれば現に糊口に窮し居るものを見ろ〳〵放任し置くに足らざれば是れが救濟策を施さゞるべからざるは勿論の事なれど救濟も其道を得ざれば却つて弊害相生じ且つ一時的のものは畢竟何等の補益する所なれば此際眞に彼等を救濟し糊口の道を得せしめんには事業則ち職業を與へ是れと同時に勤勉と貯蓄の良風を皷吹せざるべからずと云ふにありて過日來其方面に付き調査を遂げつゝあり現に今回勸業係の手により十數名を某鹽田に送りたるが一日の賃金三十五錢以上なるより食料十錢以上を差引き他は殿に貯蓄せしむるの方法を取り居れりと云ふは如何にも至極妥當の方針なるが今後右の方法を以て窮民一般にそれ〳〵職業を與ふるよし

●洋豚飼養の增加

從來朝鮮人の多くは晩日熟性なる豚を飼養し居たるを以て生後尠くとも二ケ年を經過するにあらざれば其の利を見る能はざりしが近來洋豚を飼養するもの各地に見受けらるゝが就中京城附近三浪津鎭南浦殷北晉州等に於て雜種洋豚の飼養の益あるを悟り此の種の購入盛んに行はれ居るが今回仁川の家畜家にして獸醫矢野惣平氏は農商務省より洋豚種八頭を拂下げ去る二十八日仁川に着したるが同氏は農商工部農務課と氣脈を通じて一般家畜家の便宜を計らん爲め希望者に頒たんと而して今回拂下げたる洋豚の成熟は生後約十ケ月位なりと云ふ

●恩賜授産場蠶況

京城府

恩賜授産場養蠶部の現況を聞くに去十四五の兩日に揃立をなしたる蠶兒は今夜より三眠に入るべき筈なるが揃立以來天候適順なるより發育頗る佳良なれど只一の遺憾とすべきは桑は遠く城外より取寄せ居るにぞ多大の時費を要し加之桑葉の性質善からざるにあり鮮人の傳習生五十名は尤も熱心に勉强し居れるが今回募集せし私費傳習生以内地人の女子二名同鮮人七名にして這は通勤なれど蠶室は三ケ所にして外に給桑準備室ありしが蠶兒は小籃二百枚以上になり今後其發育に從つてなほ枚數を增加せざるべからざるなり尙は昨今内地人及び鮮人婦女の參觀を乞ふもの多く取分け鮮人其多數を占め毎日平均三十餘名に達し檜垣道長官夫人には二回參觀され又津京中の廣岡淺子女史に來訪ありしが殖業勸奬の一助ともなる事なれば其都度技師には各室に案内し叮嚀に說明を取り居れりと

●各地の工事狀況

▲安東縣 鴨綠江架橋工事及び新安停車場は着々と其の工事を進めつゝあるが安東縣停車場工事は大工事の事とて土工完成期迄には尙數ケ月の日數を要すべき見込なれば本年中に竣工すべき安奉線改修工事及鴨綠江架橋工事と相俟つて營業を開始せん筈にて近く木造假停車場工事の着手を見るに至るべし

▲大邱 目下道路工事及鐵道工事各地に弗々見受けられ建築工事も漸次增加の模樣なり

▲木浦 湖南鐵道工事は四月中旬頃より開始され附近道路工事の三四ケ所に見受けらるゝあり

▲釜山 目下同地には鐵道及道路工事等はなきも他の開港地に比し一般の人氣良好なるを以て個人としての家屋建築比較的盛んなるのみならず諸官署會社等の建築亦た順次起工され殊に氣候適順の爲め盛況を極め釜山鎭の埋立及鑿岩工事は冬夏の別なく已に久しく鋭意之れが工事を急ぎつゝあるを以て近頃著しき進捗を爲し一般工事界は最も盛況の中にあり

▲新義州 鴨綠江架橋工事は鐵橋の架設已に五分の一に及び四月中數百の支那苦力團体の移任等ありて益々繁忙の模樣なり

●甲山銅山の近況

コールブラン氏の手に於て目下經營しつゝある咸鏡南道甲山の銅鑛は現在は單に試掘に過ぎざるも其成績は極めて良好なるを以て遠からず大規模の採鑛及製錬に着手すべく尙交通の不便は徒らに運賃に嵩むのみなればとて昨今甲山城津間に輕便軌道を敷設し居れるが之れ近々竣工すべしと云ふ因にコールブラン氏の經營しつゝある遂安金鑛は先月の如き純利五万圓を計上せりとの事なり

外事一束

▲墨國 臨時大統領は叛軍要求の軍事賠償金二千萬弗を支拂ふ準備をなす。

▲露國 政府は獨英墺伊各政府に土耳古國に要求事件の同意を求む不成効。

▲土國 政府は露國の要求が佛の外不同意たるを見て露に對し別に不同答。

▲平穩 墨西哥臨時大統領の任期は六ケ月間にして目下の墨國内平穩なり。

△一任 墨西哥革命軍領首マデロは新大統領たり一切の軍隊監督を一任せり。

△廣東 碇泊の我宇治艦は豫定の如く珠江を經西江を溯り梧州に向ひ航行。

△倫敦 にて開かれし英殖民地各首相歡迎會は熱誠と親厚とに於て盛を極。

△獨逸 帝國議會の委員會は日獨暫定通商協定を審議し全部之に同意せり。

▲選擧 葡萄牙國民議會の議員選擧は其大部分政府黨員の撰出せらる形勢。

▲奉天 の趙總督は警察事務の改善統一を圖るため警務監督を新設に内定。

●夜學校めぐり（三）

山村生

第四夜 興士團

興士團内で林圭氏が、私塾を開いて居る、氏は十一年間、東京に留學して居たので、日語の巧みな事は勿論だが、驚くべき事は氏の妻君が亦巧妙な、日語をあやつり、林氏を助けて共に教鞭を取つてをる事だ、甲乙二班に分れて八十名の學生が居る女の教師が男生徒を教授する學校もあれば、先生が生徒を打つ處もある、而かも其の距離は三四丁だ、ハヽー成る程ミツドルエージだ

第五夜 興化學校

興士團と相對して、興化學校内に、高橋會四郎氏が、夜學校を經營して居る七名の教師中、三名は日本人だ此の樣な所は外にない、甲乙丙、三班で百二十名の生徒が、狹い汚い（ヲット失禮）教場で勉強して居る。京城の夜學校では、林圭氏と高橋氏との夜學校とが一番盛んだ。

召使お初

第六十七回 黑法師

「母上來らせか」と佐十郎は驚いて「れ目に懸るも面目ないわの」

「左樣なことを仰せ遊ばすものではござりませぬ」と德兵衛は叱るやうに「あなた樣御事を何れ程御懸念遊ばしてれ在かも知れませぬ」

「旦那樣、御新造樣をどう致しますな」と執次の丁稚は催促す

「此方へ御案内、れ察どのはれ茶の用意して下さるよう」

れ察は心得て座を起ちぬ、それと入れ違ひて、れ力は徐々と入り來る

「や、これは奥樣、よく御來せござりました、先刻は殊の外御邪魔、何ともれ詫の致しやうもござりませぬ」と德兵衛は何時の塲合にも眞情籠めて「兎も角も御安心なされませ、若旦那樣當分は私方に御逗留のれ積りでござります」

「何から何まで、此方樣作に爲るわの」とれ力は痛み入りながら「れ察どのもうた上りか」

「いゝえ」と頭を掉つて「まだれ上りござりませぬ」

「それは幸ひ、實はれ道へ托たいものでざつての」

「れ安い御用でござります、今日は御門限に間もござりませぬゆへ、明日の朝に爲されても仔細ござりませぬ」

「然し、私の爲めに時後れては宜しくない、れ察ぞの何れにれ越し爲さるちやの」

と云ふ詞の絡らぬ中、れ察は茶菓子を運び來る、德兵衛は見て

「奥樣、れ察どのでござります、御存じではござりませうも、今日は改めて私から紹介致します」

「れゝ、れ察どのござつたか、先年は態々とれ訪ねなされたを愛憎ない返事、何とも辨解ござりませぬ、此度はれ力添々にれ家れ遣御奉公のれ側へ、れ差し出しには預つても、世間見ずの不束者、定めて不調法も致し居らうが、それはかりを心配致すで、あなた萬事に心付け、首尾ようれ役勉めまするやう、相談相手にれ爲り下さるぢや」とれ力は誰にも謙遜りて「小にれ願ひ申すでござります」

「御縁あつてれ道樣のれ側へ參るも前世からのれ約束と心得、一命をさし上げ、大切御奉公致す心でござります、斯樣に口廣いことを申上げるも、あなた樣、旦那樣へ御安心をれ爲せ申したい爲めばかり、意外ながられ道樣背後にれ察わるをれ忘れござりまするな」

「嬉しい御口上、それ承はつて、胸も沈着くやうに思ひます」とれ力はいそ〳〵膝を前めて「今日態々參つたは別儀でもござりませぬ、あなた御殿へれ上りの序、れ道へ托けたいものがござります」

「什麼かは知りませぬが、御遠慮なく仰せ下さりませ」

云ふ中にれ力は懷中より一封の手紙を取り出しぬ、同時に小さき香函へ入れたる持藥紫雪を取り出しぬ

「これに手紙と、藥とがござります、この手紙は私の存じつき、紫雪はれ道の合藥、それにれ祖母樣れ紀念の櫛笄でござります、これをれ道手へれ渡しなされて下さりませ、賴みは只これはかりでござります」

「確かにれ預り、きつとれ手渡し致しまする、外に御口上でござりませぬか」

「口上はござりませぬ、なれど一たん御奉公申し上げた上、家に兩親あると思ふな、世に同胞あると思ふな、一命は御前奥方へさし上げたものと觀念、一圖に忠節を勵むやう、きとれ傳へ願ひまする」

「御口上具さに申し上げるでござります」

子を思ふ親心の切なさは、その口上に血の色見ゆき、子の聲に恩愛の閃きわりき。

東京電報（二日發）

▲聖恩枯骨に及ぶ　昨一日勤王志士並に碩學者等四十五氏に對し夫れ〳〵贈位の御沙汰あり

▲濟生會總會　濟生會世話人總會は來る五日桂首相邸に開會し桂首相より內務省の設立認可登記等設立の手續終了の旨報告し寄附金額を確定すべし

▲正金頭取公式互選　横濱正金銀行に於ては昨一日午後重役會議を開き互選の結果既報の如く三島彌太郎氏頭取に就任する事に決せり

▲鮮人視察團出發　朝鮮人內地視察團の一行は昨一日午後十一時新橋發京都に向へり

▲朝鮮開教總監　曹洞宗にては今回芝愛宕下靑松寺前住職北野法師を朝鮮開教總監に任命したり氏は不日出發赴任すべし

▲朝鮮師團增置說　朝鮮守備のため二箇師團を常設する計畫は來年度より着手せらるべしと傳へらる

▲遣英宮御着期　遣英御名代東伏見宮殿下には東鄕、乃木兩大將を隨へさせられ來る七日午前倫敦御着の御都合なり

▲淸實業團渡日　淸國實業團は愈々來る十月を以て來朝に就き東京商業會議所にては今日歡迎に關する準備相談會を開く

雜報

●特別刑法制定　朝鮮の現狀に省み其議起る

朝鮮刑法は比較的峻嚴に仕組まれ居るも唯だ一の缺點とも稱すべきは特種犯罪に對する寬嚴の度合其當を得ざる場合尠からざる事是なり現に彼の暴徒若くは危險極まる陰謀を企てたるものに對し均しく普通刑法を準せざるべきが如きは治安維持上種々不都合の點あり最近の實例を以て之を言へば安命根梁起澤等の如き不逞の兇徒ありて未遂中に檢舉せし場合普通刑法にては到底完全に懲罰を加へ難し故に往年臺灣に施行せし匪徒刑罰令の如きものを設くるは特に喫緊の急要事たるのみならず又一は訴訟の進行をして敏速に運用せしむるの利益あり而して民度の尙は甚だ幼稚なる朝鮮に在ては斯かる特別法を制定するも決して妨げなく旁々目下調査中なりと聞く

●危險物質取締

石油揮發油酒精燐寸煙火の如き引火物質に對する取締規則昨日發布せらる右は六月十日より施行し該物質の貯藏所を設け又は改築增築大修繕を爲さんとする場合は建造地貯藏物の種類數量四隣建物との關係等を具し構造仕樣書に添付警務部長に出願し許可を受くべし又現に貯藏所を有するものは同令施行の日より五十日以內に以上の手續を踏むべしと

●定例長官會議　二日午前九時より總督府に於て定例長官會議を開き寺內總督を始め倉富、石塚、荒井、宇佐美、小松、池田の各長官、明石警務總長、鐵副總裁、小城、菊池の兩長官代理列席政務の打合せを爲し午前十一時半散會したり

●總督と小學校　寺內總督は近々民團立各學校及官私立諸學校を視察し教育上に關する訓諭を爲す由但し日取は尙ほ未定なり

●總督外人校臨式　米國人の經營に係る濟衆醫院醫學校に於て二日卒業證書授與式を舉行するに就き寺內總督は同校に赴き有益なる一場の訓諭を試みしといふ

●各道授產計劃（七）　江原道……

▲事業經理方法　同道に於ける賜恩金利子の內授產事業に投せらるべき額は本年度三万三千七百五十圓、四十三年度下半季一萬六千八百七十五圓あり而して此內二萬二千九百三十五圓餘を本年度支出とし其施設事業は蠶業巡回教師、漁業實習生委託養成、機業傳習生養成、桑苗蠶種及楮苗の配付、苗圃設置、共同蠶業所設置とす又之を大別して郡共同事業及郡各箇事業の二とし各郡共同事業は蠶業漁業機業の三種を撰び郡各箇事業は桑苗蠶種楮苗の配付とせり

▲蠶業巡回教師　元來同道は氣候風土殊に養蠶に適し將來大に發展の望みあるを以て四十二年以來蠶業傳習所を春川、鐵原の二ヶ所に置き四十三年稚蠶共同飼育所二十一ヶ所を設け傳習所卒業生を配置して其獎勵に努めたり故に之が基礎とし且つ其規模を擴張して名稱を共同蠶業所と改め以て恩賜金利子に依る經營事業たらしめんとす而して以上の統一を計る爲め蠶業巡回教師を設置し既報の傳習所教師と相依り相待ちて實地の指導を爲さしむるものとす

▲漁業實習生委託　地方費を以て漁業實習場を江陵郡注文津に設け沿岸八郡より實習生を撰定し其養成を委托す實習科目は漁具の製作及水產物製造並に漁法の傳習にして卒業後自活の途を得せしめ且つ其改良發達を計らんには先づ人の養成を以て第一義とせり而して卒業後漁具製作實習者に對しては現に使用し居れる器具一揃及製作材料を又漁法實習には實習漁製作に係かる漁具を給與する筈なり

▲機業傳習生委託　從來同道は春川郡を中心として隣接郡より明紬及木綿の產出尠からず然れども品質粗惡にして使用に適せず故に之が改良を計らん爲め曩に地方費より補助を支出し春川に機業傳習所を設置しあり依て春川洪川華川楊口麟蹄の五郡を共同せしめ恒產なき兩班儒生の婦女を撰定して之を同所に委託し改良機織の方法を習習せしめ以て家庭の副業を授けんとす而して傳習修了後現業に就く場合は機織一組を給し原料の買入及生產品の販賣に就て傳習所に於て相當の便宜を與ふ

▲郡各箇事業　を概別すれば桑苗配付郡二十三郡蠶種配付郡二十三郡楮苗配付郡十八郡とし恒產なき儒生兩班其他にして各其事業に從事せんとするものに無料配與するものとす又共同蠶業所を十三郡二十一ヶ所に設置し前記共同計劃に基く巡回教師をして之が教導の任に當らしむ

●教員夏季講習會　全道の內地人小學校教員學力補充の爲め夏季講習會を來七月二十六日より八月四日まで京城、釜山の二ヶ處に於て開催する事に決し其場所は未定なれど着々準備京城の講習學科は國語、教育の二科にして國語は文學博士芳賀矢一氏擔當し又釜山の講習學科は複式學級教授法理科の二科にて複式學級教授法は東京高等師範學校教授棚千賀衛氏擔當の筈なりと

●淺子女史（總督府醫院）

目下滯留中の廣岡淺子女史は隨員富樫貞宮氏を伴ひ一日午前總督府醫院に藤田院長を訪問し看護婦の勤務並に教育現況より朝鮮看護婦及助產婦生徒教育の狀況等を見聞し頗る滿足し大に院長苦心のある處に同情を寄せ同夜八時更に院長始め列席の下に非番看護婦全体に對し一場の講話を試みたり其要旨は「昨今內地に於ける看護婦の狀態一般に面白からず感じ居るにも不拘諸嬢は斯る土地高潔新綠滴らんとする別天地に汚濁せる經界と離れ宏壯なる醫院に入りて懇切慈愛に富める院長保護の下に服務せられ恰も一家の暖き家庭にあるが如く毫も家庭を離れて單身の境遇にあるの情況なく患者も深く其懇切に感じ居れる狀態を見て欣喜の態に堪へず然れども諸嬢の位置は決して自己一身の修養を以て足れりとせず今日朝鮮に在留する人は凡て朝鮮人を我が子弟と思ひ之を誘導扶掖し以て立派なる國民と成すの責任を有すれば諸嬢等も又朝鮮看護婦を我が妹と思ひ其妹を教育するの責任ある事を片時も忘る可からず亦一歩進んで考ふるに古來女子と小人とは養ひ難しとの一言の下に我々姉妹は劣等視せられ居るは如何にも殘念千萬ならずや去り迚如何に慨慨するも自分の見る所にては一般の女子が斯く男子の厄介物視せらるゝは當然の事と信ず現代の女子にして良く良人の事業を助け內助の功を奏するもの果して幾人かある今にして我等女子は自覺せずんば永久に男性の惡遇を受けん宜しく我が本來の良智良能に立歸り沈思默考せば人間神靈の尊きと今日焦眉の急問題たる我等女子の使命も了解せらるゝ嬢等の內よく自己の使命を自覺し奮勵以て世に立たんとするの人あらば何時たりとも犬馬の勞を採らん事を今日誓約するに吝ならず願くば古來女子の特性とも見做され居る嫉妬心虛榮心の如きを全然除去して仁慈優雅なる婦人となられん事を希望す彼のナイチンゲールの如き彼れも人なり我も又人なり願くば此內より幾多の東洋ナイチンゲールを出さん事を切望す否決して能はざるにあらず要は諸嬢の奮勵如何にあり妾は諸嬢と倶に我が婦道の爲め努力し及諸嬢の相談相手たるを辭せざるものなり」云々

●最近醫藥業者狀況

最近の醫藥狀況に關し其筋の調査したる者によれば病院數は官立十四公立內地人十二鮮人二私立內地人七十鮮人八外國人十五にして總計百三十一なり而して醫者の人員は內地人三百七十鮮人千八百六外國人二十七產婆は內地人百六十七八鮮人二名看護婦は內地人二百十四鮮人十一藥劑師は內地人十六鮮人二百七藥種賣買業者內地人七百六十六鮮人三千百三十なるが此醫士及賣藥業者に於て鮮人の多數なるは草根木皮を主とする漢法醫を含有するが故なりと云ふ

●愛婦病院訪問（衛戍）

愛國婦人會朝鮮本部の三本外六夫人は一日午後二時大橋主幹同伴龍山衛戍病院の傷病兵を慰問し外科內科各室の患者七十三名に對して慰問品を贈ると共に各患者を慰藉し院內各設備を數覽したるが病兵何れも感泣せりと

●本山社長出發　大阪每日新聞社長本山彥一氏は既報の如く二日午前九時十分京義線列車にて平壤に向ひ出發官民の重なるもの五十餘名南大門驛に見送れり

●井上氏招待會　滯京中の井上雅二氏招待會は一日の夜京城ホテルに開かれ出席者多數一同食卓に着くや小宮李王家次官の挨拶あり井上氏答辭を述べ其より各自快談を試み午後十時過散會したり

●井上雅二氏出發期　井上雅二氏は三日午後十時四十分發列車にて歸東し來る廿一日の船便にて約二ヶ月間の豫定を以て南洋視察の途に就く由

●月報面目を改む　京城內地人商業會議所月報は從來甚だ蕪雜を極め居りしが五月號より大に編輯に體裁を施し其面目を更新せり

●龍山軍人分會　帝國在鄕軍人會龍山分會は愈々來る六月四日午前九時より步兵第六十五聯隊營內に於て發會式舉行設立委員田中一等主計正、荒木憲兵大尉より主なる官民にそれぞれ案內狀を發せり

▲人さま〳〵▼（四十六）

檜垣直右君

現京畿道長官正四位勳三等檜垣直右君は山口縣の人だ、君は古い〳〵教育家である、所謂長閥のそれで二十餘年前愛媛縣立中學校長に任じ、嘖々たる令聞を傳へた其功に因つて文部省視學官に榮轉する事となつた、斯くて日本六十四餘州到る處に足跡を印し文教の指導に貢獻した、後其功に因つて岡山縣知事に榮進し玆に始めて牧民官となつたのである、處が彼の八釜しい宇野鐵道問題が雲を捲いて沸騰したもんだから耐らない、元來正直一片の君と政商衆業の我利我利屋との對照であるから破れ返るような大騷ぎ、夫れかあらぬか不幸にも文官分限令を適用さるゝといふ譯合となつた、兎に角教育はお手のものであるから此方面に於ける君の手腕は刮目すべしである。

●慶尙南道饑饉

慶尙北道の饑饉は既に紙上にて散見したる處なるが慶尙南道地方も北道同樣米價雜穀等の價格騰貴し日に日に衣食に窮するもの續出の有樣なるが中にも密陽郡の如きは其の重なるものにして過般來恩賜蠶業傳習生募集中なりしが其應募者數百に達したるより其の原因を調査したるに一般傳習生に月額二圓講習中食費として給與さるゝを以てなりと分明したるを以て目下道當局者は此等救濟の爲め苦心中なりと

▼朝鮮六月號▲　雜誌「朝鮮」六月號出づ同誌が侃諤の議論をなし每に民聲の代表者を以て自ら任じをるは既に世人の認むる所なり殊に當今言論取締の殷密なる中に立ち六月號中旭邦子の「寺內總督に奉る書」と題せる主張を公けにせしは同紙の抱負を窺ふに足るべく其所論遒に旭邦氏雄渾の想擇一言一句沈痛適切ならざるはなく而も擒縱活殺自在の中犯す可からざるあり文中「閣下の政治に依り（中略）朝鮮の如く墮落せる人心と風俗とを矯むるには最も適切なる應病與藥なり然れども其半面に於ては餘りに苛察政治となり餘りに干涉政治となり餘りに官吏本位官權本位となり（中略）百事活氣無きに至るの餘弊無きか」と喝破し又「法令發布は妨げ無し而も此法令に因はれて民業を妨げ民心を沮喪せしむるは決して策の得たるものにあらず」と警め終に「昔は專制君主の時代に於てすら明君は以古爲鏡可見興替以言爲鏡可知得失とし○○○○○○○○○○たり民意を重じ玉ふ我明治聖天子の使臣たる閣下が民論と苦言を忌むは吾人の諒解に苦しむ所なり」と結びしが如く異乘の意氣々紙上に溢るゝの概あり論說中林董伯の「會社令と言論取締に就て」は穩健の論「新聞紙を取締つて之れに依つて總督政治の非難攻擊を秘せんとする如きは實に愚なことで且つ陋い行り方である若し一方の新聞紙をして言はんとする所を云はしめ而して總督に於ても一方の新聞をして或は自ら自己の立場を明確に示せば世人は兩方に眼を注いで正當なる判斷を下し得るものである」と言ひしは頗に適切なるを感ず其他「硏究」「訪問」「名流談叢」の各欄例によつて讀む可きもの多く雜纂欄亦大に振へり就中川端氏の「水原勸業模範場を視る」は農事經營者を益することと大なるべく讀者は之を讀みて模範場なるものは朝鮮農業狀態を一目の下に收めし縮圖なることを會得すべし（編輯子）

公人私人

▲島尾好平（萬朝記者）六月二日釜山行
▲小川平吉（代議士）同
▲秀島浩一（辯護士）同
▲泥川正直（辯護士）同
▲中島今朝吉（陸軍中尉）同
▲南部重遠（安東新報社長）浦尾旅館へ

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（一日分）　乘車客　六九一　下車客　七四〇
貨物賃金　一、九六、四六
▲南大門驛荷扱高（一日分）　發送　五六噸　到着　五一七噸
貨物賃金　三九四、八九
▲龍山驛乘降客（一日分）　乘車客　二五八　下車客　二一二
乘車賃金　二三六、二三
▲龍山驛荷扱高（一日分）　發送　四噸　到着　四三噸
貨物賃金　一三、九二

▲京城手形交換高▼

六月二日　金高　三二一、二四二、七四〇　枚數　四五七

●仁川米豆取引所

●一日後場六月出來不申▲七月寄十一圓二十錢▲最高同上▲最低十三錢▲止十四錢▲八月寄十一圓四十五錢▲最高四十九錢▲最低四十一錢▲止四十二錢●二日前場六月出來不申▲七月寄十一圓十九錢▲最高二十錢▲最低十九錢▲止二十錢▲八月寄十一圓四十九錢▲最高五十一錢▲最低四十九錢▲

●大坂期米電報

●一日後場六月寄出來不申▲止十七圓三十二錢▲七月寄二十九錢▲止三十七錢▲八月寄四十一錢▲止五十錢●二日前場六月寄十七圓四十四錢▲止不明▲七月寄四十二錢▲止四十四錢▲八月寄五十六錢▲止六十六錢

●相場電報（明治町四村支店着）

	一日後場 寄付	一日後場 引	二日前場 寄付	二日前場 引
▲神戶電鐵	三三、二〇	出來不申	出來不申	出來不申
▲京阪電鐵	五八、〇〇	五八、二〇	五九、〇〇	六一、一〇
▲鐘淵紡績	九八、二〇	九八、八〇	九九、二〇	一〇一、〇〇
▲大坂電燈	一〇三、八〇	一〇三、九〇	一〇五、七〇	一〇七、四〇
▲東京新株	八九、八〇	九〇、五〇	九一、六〇	九一、二〇
▲大坂株式	一二二、三〇	一二四、一〇	一一五、四〇	一一五、四〇
▲同直取引	一一〇、九〇	一一三、四〇	一一二、五〇	一一三、九〇

內地巡禮日記（六）　水浪生

寺內總督が新橋驛から歸任の途に登られたのは七日の午後であつた、其出發の光景は既に當日の各東京新聞紙に因つて報道濟となつて居るので余の日記からは省かうと思つた、併し東京新聞紙の報道は自ら別なもので余の日記から之を取除いては、日記其物が完全にならぬ、故に蛇足とは思ひつゝも聊か左に記すことに致した。

七日午後余は麴町方面に向て余の訪問力を發揮しつゝあつた、時に時計を見れば二時、イヤ今日は寺內總督が出發せらるゝのであつたと、車を回し一寸旅舍に立寄り、丁度訪ねて來られた某君と共に新橋驛に行つた。茲には總督見送りの官民ハヤ群を爲し、其群中には曾つて朝鮮に關係を有せし人々及び現在關係を有する人々も大分見えた司法官會議の爲上京中なりし國分檢事總長、山邊司法部書記官等の顏も見えた、元の統監府附武官村田中將も例の愛娘を携へつゝ群中を來往して居られた、三時發車のベル將さに鳴らんとするや寺內總督は夫人と共に見られ、衆に擁せられつゝプラットホームに立つた、總督余を見付け近いて曰く「まだ歸りにならんか」と余答へて曰く「自分は近日伊勢に參宮し而して後ち歸鮮の積りなり」と、發車間際後藤遞信、小松原文部群中より進んで語を總督に交ゆ、余一間許りを隔たり其狀を見て居るに恰かも屬僚が長官に向かつて物を申すが如し、後藤偉らからざるに非ず、小松原亦た偉らからざるに非ず、而かも余の性相眼を以てすれば寺內總督の前頭部の特に突起せるは之れ彼れの道義心の發達を示せるもの、後藤や小松原やの偉らきは到底寺內の偉らきに如かず。余の謂他日寺內にして眞に被治者を解し眞に政治を解するに於ては必ずや首相の印璽を帶び、後藤小松原其他の輩とは、屬僚若しくは伴食として頤使するの時あらんと。

汽笛一聲、總督の一行は長蛇に擁して消え去る、見送りの群集は干潮のツレの如くに踵を回らして歸る、茲に名は言はされども見送り人中に五六の人の狡るさがあり、彼等は余を捉へて切りに總督に對する余の不平談を聽かんとす、余彼等に答へて曰く余の「不平なるは總督に對してに非ずして、總督政治其物に對してなり」。彼等曰く「然れども現に總督は君に對して追害を加へつゝあるに非ずや」と、余答へて曰く「寺內總督は斷じて余に追害を加へることなし、而かも余に向かつて追害を加へんと試みつゝあるは半島經營の何物たるかを知らず、總督政治の何物たるかを解せず、否な總督の考の如何なるかをさへ解せずして徒らに盲動する、官府一部の小人輩是れなり」と。

アー人間の心理作用は妙なものだ、余は寺內總督に就て道義心の卓越せる發達を認む、而も彼れの政治的手腕に到つては其生硬を常に難ず、さあれ總督は朝鮮の總督である、其朝鮮の總督に關して新橋驛雜踏の中で、而かも籍を朝鮮に有する余の面前に於て、輕薄なる東京人の口から罵倒冷評を恣にされては餘り好い心持はせぬのである。余はドーかして我總督を好評判の總督たらしめたいと思つた、夫にしてはドーしても寺內總督をして被治者に臨むの道を悟り、同時に政治は被治者の爲に存在するものなることを悟り、其施政をして被治者本位ならしむることに骨折れねばならぬ事を痛切に感じた。

▲茶袋▼

繁文縟禮は吾が官廳の一名物とも謂つべしで、見て居ても歯痒い心地がする▲例令ば一事件を始末するにも係りの屬官が起案し、關係の役人に合議を了へ、夫れから課長局長長官政務總監を經て、愈々最後に總督の決裁を請ふまでには、勿驚捺印の數三十幾つとなつて、書類一面眞つ赤に化して了まう▲だから一人の捺印を極く尠く見積つて半日掛かるとしても一事件の始末が付くまでには十五日以上掛かる▲是じや耐らぬので、爾後起案は課長以上たるべしとの嚴命が下つた、處で二本筋三本筋の先生方今までの如うに太平樂を駢べて居る譯には行かず四割の增加俸も爲めに差引を食ふといふ勘定なので大弱りだ▲吉原副總裁皮膚病を惱む既に百餘日、餘り永いので頻りと業腹を煮やして居る、ソコデ主治醫に對つて斯んなに永く掛かるのは第一君等の療法から惡いからだ、苟くも病を療治するのに其体力の强弱を計らず、千篇一律の處方劑を與ゆるなど怪からんと敦圉き、反逆に釋迦に說法は振つて居る。

清州通信（一日　通信員）

△衛生幻燈會　當地道廳にては總督府より幻燈器械の配付を受けたるを以て其普及を圖り殊に季節の變遷に伴ひて當地普通學校に於て鮮人生徒及父兄を集め約一週間の豫定を以て隔番に開催せり尙日本人會立小學校に於ても內地人生徒を集め開催せしめ生徒の父兄を集め父兄側よりは只一二婦人の參觀ありしのみにて他に其效を認めざりしは最も遺憾とする處なり聞く父兄に對しては同校生徒中其年長者をして其通知をなさしめたるや否やは詳ならず要は當局者の注意足らざる結果に起因するものなれば此際斯る有益なる會催に付ては一般に通知せられたきものなり

……開演中なりし山根活動寫眞師は今般地方巡業の目的を以て頃日當地に來り昨三十一日午後八時より南門外鮮人基督敎會堂前空地に於て開演する事となれ……五錢の三種にして昨夜映出の演題は忠犬の美擧及び日露の戰爭に際し忠勇なる我將卒が歡呼の聲に送られて出征の爲め住み馴れし母國發足の光景等有益頗る盛況を呈しつゝあり

●訂正　前號社說中第二十行目の尊敬は尊嚴、二十八行目の取ては敢て、六十九行目の居留民は移住民、二十六行……に付爰に訂正す

△衛生幻燈會 當地道廳にては督府より幻燈器械の配付を受けたるを以て其普及を圖り殊に季節の變遷に伴ひ一般に其思想周知の須要を認め先以…を集め約一週間の豫定を以つて順番開催せり日本人會立小學校に於ても內地人生徒を集め開催せしめ生徒の父兄其他一般人民に對し何等通知なき爲しのみにて他に其要を認めざりしは畢ら遺憾とする處なり聞く父兄に對しては同校生徒中其年長者をして其通知を爲さしめしが如きも其要務を果せしやざる結果に起因するものなれば此際斷る有益なる會催に付ては一般に通知せられたきものなり

△活動寫眞の開演 豫て釜山座に於て…方巡業の目的を以て曩日當地に來り昨三十一日午後八時より南門外鮮人基督教會堂前空地に於て開演する事となれり木戸は一等三十錢二等二十錢三等十…犬の美擧及び日露の戰爭に關し忠勇なる我將卒が歡呼の聲に送られて出征の爲め住み馴れし母國發足の光景等有益なるもの多く觀覽者約三百以上に達し

●訂正 前號社說中第二十行目の●●は●●、十八行目の●●では●●、十九行目の伊●●は移住民、二十六行目中官幣の●は國費支辨となるべきもの

多情多恨

京城藝妓の半生（廿五） 井門本店 權助（三）

何分にも寒いのでヂッとして居れば足の先が千裂て飛ぶ如ヅキ〳〵痛んで來る、十分二十分と待つても待つても島津さんは來ない、寒さは益々劇しく身に堪わる、万一島津さんは前の**列車**で先へ發つたのでは無からうか、イヤ其樣筈はない自分丈け東京へ行つた處で何處で落合ふと云ふ夫れ迄の打ち合せは致て無いんだから其樣ことは無いとして見るとモシヤれ宅の人達に感づかれて**足止**めをされてるのぢやないかしら、夫れだと此所に何時まで待つても無駄だが、とムシャクシャ腹で時計を見るとモウ八時に近い、乾度左樣だ乾度誰れかに捉まつて出られなくなつたに相違ないとすれば妾け何うしよう廢業屆を出さない以前なら抱家へ歸りもされ樣が今では夫れも出來ない、東京迄位の旅費はあるから「左樣なら」を極めるのは譯もないことだが自分一人ではヅラかる考へもなし又其の必要もない斗りぢやない左樣すると**抱主や自家に迷惑**が掛る、自分の心にもない事を爲て抱主や實家に迷惑を掛けるのは馬鹿げて居る、深く考へれば第一何うして逃げ樣なんて氣になつたんだらう一旦は共に逃げた處でが**到底末始終添ひ遂げられる目的は無い**のに、一層の事理由を話して謝罪つたら許して與れない事もなからうから逆戻りを爲ようかしらとも思つたが併し夫れも妾の氣性としては出來ないしと彼か斯うかと考へれば考へる程頭がコンガラカツて好い知慧も出ない、寒いのも忘れて**考へ込ん**でると**肩**をソツとツツ**突**いた人がある飛び上る程驚きましたね、ハッと身を起して振り反ると其處には帽子眉深かに二重マントの襟を上げて毛皮の襟卷を鼻の邊りまでも卷き附けた**島津**さんが立つて居る夫れと一目見た妾は何んだか氣か變になつてホロリと成りました、嬉しいのでか悲しいのでか未だに理由は判りません、胸の痞ねが一時に下つてホッと息を吐いか耳許へ口を寄せた島津さん「大變待つたか、寒かつたらうが俺せ又俺でれ前の來るのが遲いので何うした事かと一旦**引**つ**返**して今迄かゝつて**容子を探**つて居たのだ、待たせて濟まなかつたが左樣云ふ理由なんだから堪忍して與れ」相變らずの優しさに今迄考へてた事は忘れて只モウ**嬉**しさが**充滿**「チヤ彼**裏道**で**逢**つた**人力車**が**貴郎**のだつたワ」「左樣だ、俺も變だと思つたが迂濶には聲も掛けられないのでさ」「妾もよ」「サ、一つ吞みな少しは溫まるだらうから」とホケツトから取り出して獻されたウ井**スキー**を三盃迄乾しますと斯う好い心地になると同時に**矢**でも**鐵砲**でも持つて來いつて元氣に成つて巫山戲て居る間に待ち焦れた長野からの滊車が着いた**九時四十何分**かでしたよ首尾よく**二等車**へ飛び乘つて**上野**へ**着**いたのが翌日の夕方の五時時分、云ふ迄もなく其頃には上田の方では妾のヅラかつた事に氣が附いて搜索願を出してることは判り切つた話し、警察に廢業屆が出てますものね、ですから實家へ立ち回ると云ふことは飛んで火に入る夏の虫直樣「コラ」と來るからと其の晩は神田美土代町の小さな宿屋に草鞋ちやない下駄を脱いで翌る日使いを行つて**湯島天神**の**魚十**へれ**母**さんを呼び出し事情を話して相談の結果其の周旋で**實家**の**近所**に**世帶**を**持**つことにしました、元より島津さんが金を持つて居るのだから抱へ主の方への前借金は奇麗に濟まして貰ふことにして（つゞく）

斬られことの發展

▽本願寺下の妖魔窟 當地本町一丁目裏待合春日の主人橋本香吉の妾たりし松島こと云ふは當年取つて三十四歲と云ふ大年增なるも持つて生れた容貌美しとて一寸見た目には二十六七としか見へぬと云ふのが其の身の仇となり去月八日（本紙發行停止中）旭町待合住の江に於て香吉の爲め痴情の上から斬り附けられ重傷を負ひ明治町鶴田病院に入院治療中なりしが此の程全治せしより以前に懲りず辣腕を揮はんものと不良らぬ心願を立て第一着に以前關係ありし○○太君に電氣を掛けしも恐氣づいたる○太君敢て手に成らぬより見限りを附け泥峴街の商人某々等に目星をつけ遂々手の內に丸め込み絞つた金錢で南山町は二丁目本願寺下の森勝次氏持家を借り受け此處に本陣を置き四角八面に勢力範圍の擴張に努めたる策戰美事圖星に當り引つ羅つたが本町通りの某外人、以來れてとはスッカリ西洋が好きになり服裝も洋服に限るとて目下彼れか是れかと專ら詮索中なりとは扨も褒ましい事かな

一女振り一（十六）

小西フサ子
江島廉太郎君妻女

廉太郎君は仁川移民監視課に御勤務である、フサ子さんは誠に活潑なキビ〳〵とした御婦人である、御良人の廉君は筑前琵琶に大の熱心で閑暇さへあれば調べ床しき四の絃を搔き鳴らして「征露の戰やうやう進み、南山の險も打ち破り」とか「夫れ達人は大觀す」とは行つて嬉しがつてたのは初めの間で遂に妻君を唆かして稽古すべく承諾せしめた、フサ子さんは前にも云ふが如くの氣質だからイザ稽古を初めてからと云ふもの寢食だけは忘れないが飯の焦るの位は忘れて勉強せられた結果は爭はれぬもの今日では仁川では一二を爭ふ程の御上達、先達の廉太郎君此の道には反對に妻君の指南を受ける始末さる程にける程に御當人は兎に角廉太郎君は夫れを徒らに自家の窓の塵を舞はしむるのみに止めるに忍びないで折々宴會などへ引つ張り出す、現に先日の稅關の運動會にも得意の一回を彈奏して大喝采を博した、全く素人放れがして居る、小西はフサ子さんの本姓であるが目下江島の姓を冒すべく手續中であるとか、本年二十七歲。

●强姦未遂（か）

當地本町四丁目某商店雇人中本峯吉（三八）は六月一日午前十時三十分頃當日は舊五月節句に相當せし爲め主家より振舞れたる酒を飲過しゝより醉を醒さんとて南山町三丁目幼稚園附近を散步しつゝありし際一少女と出會したるに中本は如何なる心なりけん突然其の手を握り占めたるにぞ少女は大聲揚げて救を求めたるを聞きつけたる附近の人々馳け付け來りしにぞ中本は其手を放ち一目散に逃け出せしが昨夜の事にてはあり且つ酩酊し居る事とて幼稚園の鐵柵に衝き當り仰向樣に轉倒せしを馳け着けし人々に引つ捉へられ南部署に突き出され强姦未遂犯人として目下取調べ中なるが同人は鐵柵に衝き當りたるより面部に擦過傷を受け出血し居たりと云ふ因に該少女は其の混雜中何方へか驅け去りしを以て住所氏名ともに不詳なり

●質屋から借りて質屋へ

兵庫縣神戸市新町二丁目三百四十三番地當時旭町一丁目百八番戸居住大工職通稱金齒の甚事井上淸吉（二七）は前科二犯の賭博常習者なるが近來資本に窮し五月初旬入質の爲め豫て面識ある旭町一丁目村上質店に至り同所店員守屋徹二に對し縞絽男羽織一枚御召女單衣一枚（代十三圓）を一寸貸し呉れとて騙取り之を他の質店に入質賭博に費消し尙は外三ヶ所に於ても同一手段若しくは恐喝的に借受け入質費消したる事南部署岸長野兩刑事に探知され同署にて取調の上檢事局に送らる

●仁川築港祝賀會彙報

來十一日仁川築港起工式祝賀會の賑はいこう益し想像以外なるべく龍山軍司令部にては軍樂隊の一團を送り余興を援くべしと云ふ尙當日は京城南大門驛には參會來賓者の爲め臨時待合所を設置し又仁川民團にては京龍よりの來賓者に鐵道乘車券を贈呈すべしと

●小切手を紛失す

仁川本町一丁目慶田組事務員川染牛丸は一日午後三時頃仁川稅關構內に於て振出人廣田累記渡先稅關稅務課長宛二百五十九圓の韓國銀行第三八一號小切手を紛失屆出

●傳染病者の發生

仁川新町二丁目六番地の十六西田常十郎三女あき（四）は數日前より發病五月三十一日實扶的里と判明し仁川病院に入院治療中の處昨日遂に死亡したりと

●花見中を御用

一日午後五時四十分仁川本町三丁目四番地の十七中平太郎方二階佐藤元治方に於て倉田勘市（三）佐藤元治（三九）同妻ひな（五六）外二名にて賭博なし居たる處を折から巡回の巡査に認められ現場に飛込まれ倉田佐藤の兩名並に賭金二十七錢五厘及び花札一組を取押へられ兩名は引致せられ目下拘留中

●滿鐵印章僞造者判決

去月十七日仁川署の刑事に捕縛され檢事局に送られたる南滿鐵道會社の印章僞造者井上初太郎（三）は去一日京城地方裁判所仁川支部に於て懲役三ヶ月に處せられ二年間刑の執行猶豫を與へられたり

●落した金が戻る

仁川松阪町二丁目房町一丁目路上に於て金一圓八十五錢小笠原茂平は一日午後六時四十分頃花及神直と彫刻しある認印入の財布を拾得し屆出でたるが遺失者は濱町新宮洋行員神田直次郎と判明し下渡したり

●家主の枕探し

島根縣人當時黄金町居住大工職上野藤十（二六）は四月二十八日同居人篠原ふじ所有の現金十五圓を同人の就寢中竊取したる事南部署村上川副兩刑事に探知され留置取調中

●仁川祝賀會に寄贈

京城新井藥房にては今回仁川築港起工祝賀會餘興費として金二十圓寄贈せりと

●演藝だより

●壽座の琵琶會 昨紙所報三日四日兩夜同座に於て公開する高峯琵琶演奏會の入場料は特等一圓一等八十錢二等六十錢三等四十錢にして入場券は當夜同座入口に於て買求めらるべし三日の演奏曲目筑風子の小楠公、臺灣入鈴木子の小敦盛、三曲合奏「千鳥」の外は未定なりと

●浪花節 浪花節君圓一座三日の語物三國一薮井玄伊（日本軒雲龍）人情裁判梅山大佐（東洋軒三笠）血氣傳義俠錢、田沼及偶、大和櫻義士面影（京山若圓）

東京支局設置

本社は今回業務の擴張を圖らんが爲め本社支局を左記の地に設置仕候に付何卒本社同樣御引立相成度謹告仕候也

東京市京橋區南佐柄木町七番地
京城新報社支局
支局主任 木村邦吉
電話新橋八七三番

●京城藝妓の精力と腕力

京城券番 太平町の田舍家主人を取締に菊家の文之助を議長に淸水席の京を副議長に推せる株式會社京城券番五月中の席順十番迄を聞くに淸水席の政彌を筆頭に第二番が同席の笑太郎、第三番が同じくヤン茶と孰れも精力拔群たる連中夫れに引き續きたる菊家の菊枝其の腕の强さ驚くべく第五番が田舍家の一子精力を以て之れに次ぎ花家の一丸は「那須の與市宗高は…」と琵琶搔き鳴して六番手に控へたる之れに續くは蔦屋の吉彌、梅助、政奴、榮次の面々にて孰れも規定の懸賞を授けられ大に面目をぞ施しける▲中券番の席順は淸華の今奴、れ多福枕を、ちやな樽を驅べて先陣二陣を驅け翡翠の緊春フラック○、ちやない脚を踏み占め第三番手にぞ進みたり、花月の勝利は慌てず騷がず之れに續き淸華の右女助、翡翠の秀奴、淸華の丸子、花月の玉千代、淸華の政菊、井門の奴翡翠のれ染等我れ劣らじと團子珠の揮物緋縮緬の旗をヒラツカせてぞ打たせたる跡に續くが井門の政子、花月の小だるま、花奴、淸華の一奴、鈴奴、花月の君一、同小たか、光奴、翡翠の江戶奴、精力未だ餘りある如な顏をして居る凄まじさ恐しき許りなりけり。

りん病患者に警告す

サンタールが麻病に特効ある事は今や天下の醫師の認むる處となれり而かも本剤は初より尨大なる廣告を爲さず獨り其卓拔なる藥効に倚頼して一般の信用を博するに至れり是は弊店の誇とする所なり

其藥効の見易きは恰も外科醫手術の功あるが如く疾患は患者自身に於て直に輕快をおぼゆることにより容易に判斷することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而して市上麻病の特効藥と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は…

發賣元 ―― 複六学病院方剤 サンタール SANTAHL

其優越なる藥効が幾多淋病藥中一頭地を拔くものあるが爲めに外ならず

●本品獨特の長所

本品は内服して一種の化學的變化を起し強度の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て淋病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良藥なし

藥價 急性淋疾用特製分三圓五十錢、慢性用三週分一圓八十錢、輕症用二週分一圓二十五錢、一週分六十五錢、小包郵送

京都市二條通木屋町 振替大阪三三四番 本家 藥學得業士 濱田北辰堂藥局

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六十六番

本舖 江戸堀 大阪市 猪飼史郎 各藥店ニアリ

ビットル散 飲みすぎ 食ひすぎに

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番十六番

◎貸金 旭町二ノ一五 別府組車帳場筋向小路 高橋

有給者には秘密に低利融通可申候

内科 小兒科 外科 梅毒淋病 入院隨意

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二二六）

土地建物鑛山株券賣買

一 擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一 漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本餘賣物あり
一 市内適當の場所にて印刷業老舖機械附屬品全

小林藤商店

一 部讓り物あり
一 良質の石綿山黒鉛鑛歩止まり好き金鑛賣物あり
一 水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一 電話賣物あり

京城明治町三丁目　電話六五五番

諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候 兼業

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候

京城本町三丁目 大坂野村徳七代理店 田中友吉商店 電話九九…

營業科目
東京竹内製金庫
東京堀井謄寫版
喞筒並ニ消火器
手提金匣
器械的文房具
複寫紙及複寫簿

弊店ハ前記各品專門的ニ營業仕候故ニ價格ハ概シテ内地ト同様ニ御座候 潤澤ニ取揃ヘ居候間御注文奉願候 營業品目録ハ御申越次第送呈仕候

京城本町一丁目 熊平支店 電話六二四番 振替貯金韓國二二番

東京竹内製

舶來 アイボリー石鹸

IVORY SOAP Procter & Gamble, Cincinnati
アイボリー石鹸 舶來品

御注意く
「アイボリー石鹸を下さい」といふて來る客に「へい」と差出す偽せ物あり
御要心々々

包紙に斜に「アイボリー石鹸」の日本文字あるものは眞正の舶來アイボリーなり

電話開通 三百七番 仁川本町三丁目

一國譽足袋仁川發賣元 麻裏草履卸小賣 松尾商店

いつもかつ持丹仁

JINTAN 仁丹 森下博藥房

朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

㊉十八 株式會社 十八銀行支店

京城黄金町（銅峴） 電話四二〇番 五八〇番

○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、清國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◎貯蓄預金
○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候

貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

整骨專門治療院

龍山櫻町百十一番戸 主任醫 村田象一

毎日午後二時より五時迄出張

但し先代よりの家傳と當時の治術とを斟酌し如何様の折骨難患も之を治癒せしむ

先代の門弟 助手 中野伊之七

ボビナイン 飲むだけ血になる ボビナイン

本品は貧血症、肺病及結核症に著効あり患者類似の神經衰弱、耗性症の疾病回復期、産後等の衰弱にも甚だ效あり 京…下痢に對し特効を有す

大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓 ▲送料八錢 説明書委細は無代贈呈す

横濱市境町 合資會社友田商店 振替口座東京一九三八番

朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂 振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

M.C.C.

エムシーシー

土耳古紙卷

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮内は大安賣

京城、平壤龜屋――釜山、木浦、群山高瀨支店

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒純良 高等牛乳

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舎及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）

龍山本町三丁目 龍山販賣所（電話二〇二番）

當場には稀有の牛數頭飼養致候間御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

夏期好飲料 氷 用

飲用適當 當所製氷は水道良水を使用するを以て飲用して危險なく且つ長時間の保存に堪申候

室内裝飾並に冷室 所謂花氷にして草花を滿開の儘透明なる氷裡に凝結せしものにして艶麗なる美觀は一見三伏の暑を忘るゝの點は夏期宴會席上缺く可らざるものに候

營業方法 電話にて御下命の節は早速配達仕候花氷は二三日以前御申込相願度御一報の節は直に參堂可成御便利相圖申候

製造並に賣捌所 西大門外アストルハオス横 京城製氷所 電話架設中に付取次 千三百八十二番

◎…マチス

病は決して不治の病にあらず下山博士最新發見自宅療法を詳記せし冊子を同病者の爲め無代贈呈すハガキにて申込あれ

救助 東京市京橋區新橋三七九六番 山下町二十二 慈惠院

賣捌希望の方は御來談相成度候

神聖正札

京城本町二丁目

開店來ル六月五日

三中井呉服店 電話番三十七

未曾有之大薄利

義齒術全般

京城南山町二丁目（伊藤組南に入る） 小倉三郎 電話

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候

静養所 仁川 八景園（電話五五二番）

鐵冷溫泉

きゝめのある溫泉湯

此の溫泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんそく、腸胃加答兒、肺病、ひんけつ、きりきず、其他內用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効能あり

旅館 浴客貸席 長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四二一番）

瓦斯コークス販賣

京城黄金町高等演藝館隣 酒井組 電話二一四九番

㊎ 芙江 公州 間 定期出帆廣告

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時
船内御客樣の娯樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 六月中 汽船出帆廣告

海州行
安來丸 四日、八日、十二日、十六日、廿日、廿四日
海州丸 六日、十日、十四日、十八日、廿二日、廿六日、三十日
漢津宮里浦屯串行
三省丸 二日、四日、七日、九日、十二日、十四日、十七日、十九日、廿二日、廿四日
三吉里海倉島行
成獄丸 七日、九日、十七日、廿二日

仁川本町四丁目 合資會社秋田商會船舶部 電話一七三番 七五〇番